

ソノヴァグループ 2010/11 年度売上実績について

フォナック・ジャパン株式会社(本社 東京都、代表取締役 遠藤寛明)よりソノヴァグループの 2010/11 年度売上実績(2010 年 4 月～2011 年 3 月)をご案内いたします。

世界の補聴器市場でポジションを確立したソノヴァグループ

ソノヴァグループは2010/11年度、補聴器業界のリーディングカンパニーとしての立場を確立した。深刻な為替損があったにも関わらず、1,617百万CHF(スイスフラン)(≒1,487億円)の新売上記録を達成した。これは昨年度に対し、現地通貨換算[※]で13.3%、CHFで7.8%の成長率に相当。世界各国のグループカンパニーの売上もこの成長に貢献しており、ソノヴァグループの中心事業である補聴器部門は売上の96%を占め、この部門で通貨換算10.1%の成長を達成し、業界シェアをさらに高めた。また資金調達も好調で、ソノヴァグループは強固な財政状態であることを発表した。

- ・ 2010/11会計年度において1,617百万CHF(≒1,480億円)
- ・ 為替損は84百万CHF(≒77億円)
- ・ 各国の売上が貢献
- ・ 中心事業である補聴器部門が総売上のうち96%を占める
- ・ 研究開発費は108百万CHF(≒99億円)で業界内トップクラス

※ 各国の現地幣化で換算した数値。日本の場合は円、アメリカの場合は米ドルなど。

大きな為替損による影響を受けながらも好調な売上

前述のように、ソノヴァグループは 1,617 百万 CHF(≒1,480 億円)の新売上記録を達成した。現地通貨での純売上高は 13.3%の上昇であったが 84 百万 CHF(≒77 億円)の為替損によりスイスフランで 7.8%の成長率にとどまった。営業利益は、昨対比で 22%減少、これは主に CHF 高、アドバンスト・バイオニクス社のリコールと営業停止、営業経費の上昇によるものだが、これら影響があったにも関わらず、補聴器部門の売上は前年度の 1,475 百万 CHF(≒1,357 億円)から 1,546 百万 CHF(≒1,422 億円)と増加した。補聴器のクラス別で成長率を分析したところ、ファーストクラスが 11%、ビジネスクラスが 12%、エコノミークラスが 7%で、特にファーストクラスは後期の成長率が著しかった。これは革新的な製品、スパイス プラットフォームのフォナック アンブラをローンチしたためと予測される。クラス別の売上シェアとしては、ファーストクラスが 25%、ビジネスクラスが 23%、エコノミークラスが 30%という結果になった。

売上に貢献した各国のグループカンパニー

世界各国のグループカンパニーが売上に大きく貢献した。EMEA リージョン(スイスを含むヨーロッパ、中東、アフリカ)は売上全体の 39.5%に相当し、11.3%の成長率であった。アメリカは全体売上の 36.8%を占め、14.3%の成長率であった。その他の南アメリカは 15.3%(成長率 24.3%)、アジアパシフィックは 8.4%、(成長率 2.7%)であった。

技術開発への継続投資

研究開発費は 108 百万 CHF(≒99 億円)で業界トップクラスを誇り、前年度の 87 百万 CHF(≒80 億円)を大いに上回った。これと同時に、研究開発部員を全社員の 9%に相当する 525 名に増員、全補聴器売上のうち 74%が過去 2 年以内に発売された製品となった。最新のスパイスチップ搭載補聴器は新世代のマイルストーンとして、フォナックのブランド構築と、より良い聞こえの提供に貢献していく。

損失を与えた人工内耳部門のリコール

ソノヴァグループの新しい部門、人工内耳部門はアドバンスト・バイオニクス社のリコールにより、期待値を大幅に下がった。この部門の売上は71百万CHF(≒65億円)にとどまり、当期予想より60百万CHF(≒55億円)下回った。この問題はアドバンスト・バイオニクス社とソノヴァグループ全体の売上に大きな損失を与えた。この部門を強化するため、ソノヴァグループは3月、アドバンスト・バイオニクスとフォナック・アコースティック・インプラントを一つの部門にすることを発表した。このリコールによって人工内耳の売上は停滞したが、2011年4月にはヨーロッパの薬事機関TUVが発売を認可、アメリカではFDAの認可待ちとなっている。

世界的なヒヤリングケアカンパニーに成長するために

ソノヴァグループはより多くの方たちにより豊かな聞こえ、またQOLを改善する使命の下、世界的なヒヤリングケアカンパニーに成長するために戦略を推し進めている。補聴器市場は世界的な人口増加と可処分所得の増額により、多くのポテンシャルを持っている。さらにインドや中国など人口が多い国でも市場は拡大しており、ソノヴァグループはこれらのチャンスに備えている。

2011/12の展望として、ソノヴァグループは魅力的な新製品、市場やセールスチャネルの拡大により、補聴器部門で大きく成長することを予測している。人工内耳部門はTUVの認可により市場に復活しつつあるが、アメリカ市場に再参入するタイミングに大きく左右されるといわざるを得ない。

当社は2011/12について、アドバンスト・バイオニクス売上減の影響で前半の売上は微増、またスイスフラン高の継続が今年度の売上と収益増に大きな影響を与え続けると予測している。

以上